

<その他、取組に特徴ある事例>

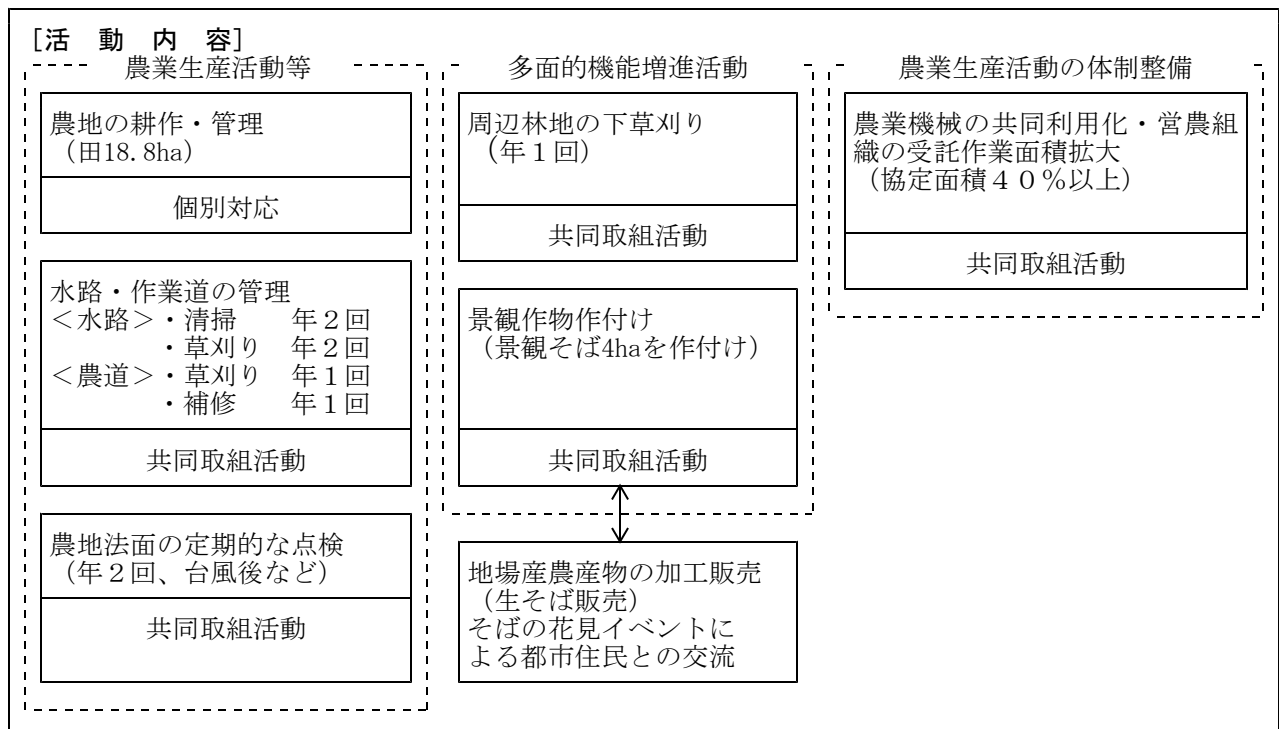
〇そばの花見イベント、生そばの特産品化

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	三重県 <small>い かし</small> 伊賀市 <small>かわかみ・さとで</small> 川上・里出			
協 定 面 積	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
18.8ha	米、そば、大豆			
交 付 金 額	個人配分			50%
396万円	共同取組活動分 (50%)	役員報酬	9%	
		景観作物そば花見イベント、特産品開発	18%	
		農用地・水路・農道管理	13%	
		農業機械購入積立	10%	
協定参加者	農業者24人、非農業者1人			

2. 集落マスタープランの概要

- ・農業従事者の高齢化が進む中、定年帰農者や兼業農家で構成する営農組合の充実を図り、集落全体で農地を保全し、生そばの特産品化を進める。
- ・水路、農道等の管理については、集落全世帯が出役し水路の泥上げ、周辺の草刈り、農道への砂利敷き等の維持管理を行う。
- ・集落営農の推進としては、水稻、小麦、大豆及びそばの基幹的作業3作業以上の機械、施設の共同利用化を図り、農業機械の共同利用面積を協定面積の40% (9.5ha) 以上を目指す。



3. 取組の経緯及び内容

農業従事者の高齢化が一層進む中で、定年帰農者や他産業への勤務者等を集落の構成員とする川上営農組合の充実を図り、転作作物として栽培している「そば」を景観作物として、開花時には花見イベントの開催など都市住民との交流、収穫した後は加工・販売による地域特産品化を図っている。

現在は、耕作放棄地になりそうな農地を営農組合が受託管理しており、また、従来から個人が所有している農業機械・施設についても、今後、営農組合が整備し、水稻、小麦、大豆及びそば等の基幹的農作業3作業以上の農業機械・施設の共同利用化を図るとともに、協定期間中に共同利用面積が協定面積40%（9.5ha）以上の増加となる取組を行う。

今後、そばの加工機械の整備と販売戦略の検討をかさね、地域特産品の確立を目指すとともに、川上営農組合の法人化にむけた検討会も実施していく。

○農用地等保全マップ



【マップの解説】

- ・農地の水路、農道等の補修、改良が必要となる範囲
- ・農作業の共同化又は受委託等が必要となる範囲



景観作物（そばの花）



そばの収穫

【平成21年度までの取組目標】

○集落での大型機械の共同利用による営農の効率化・低コスト化
（目標 9.5haで実施（協定農用地面積40%以上））

○多面的機能増進活動としてそばの花見イベントを開催。地元で取れたそばを加工・販売し都市住民との交流を図る。

また、そば販売を軌道にのせ、地域特産品として確立させる。